

防災教育の深化

～「自分の命は自分で守る力」を育成します～

地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育

◆呉市学校防災週間（7月6日を含む1週間）



子どもたちの声……

- 地域の方に話を聞いて、防災について自分事として、考えることができた。
- 改めて、自分がかかり危険な地域に住んでいることが分かった。
- 実際に地図に書き込むことで、より危険な場所が分かりやすくなった。

各学校の実態に合った取組を充実させ、主体的に行動する態度を養います。

◆「呉市防災教育のための手引き」を活用した実践

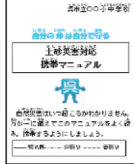
※義務教育9年間を見通し、土砂災害・洪水・高潮に重点を置いたカリキュラム

【算数科】「時間と長さ」の単元で100mを歩く時間を測定し、時間をもとに家から避難所までにかかる時間を計算する学習



◆土砂災害対応携帯マニュアル（毎年、出水期前に全ての子どもたちへ配付）

家庭を巻き込んだ取組を進めます。



全ての子どもが家庭に持ち帰り、保護者と話し合いながら自分の避難場所や避難経路、避難のタイミングなどについて確認します。

◆呉市防災教育研修会

（講師を招き、防災に関する専門的な研修）



教職員研修を充実させます。

◆地域との合同防災訓練

学校・家庭・地域が連携し、ともに防災力を高めます。



授業改善の推進

～子どもの主体的な学びを実現します～

全ての教職員で進める授業づくり

◆生徒指導の実践上の視点

- ・自己存在感の感受
- ・共感的な人間関係の育成
- ・自己決定の場の提供
- ・安全・安心な風土の醸成



子どもの具体的な姿を思い浮かべながら、児童生徒理解に基づいた授業づくりを行います。

◆全ての子どもが「分かる・できる」ための工夫

- ・学習ルール（発表の仕方等）の設定
- ・肯定的な評価（自己評価・他者評価・相互評価等）
- ・学習内容の視覚提示
- ・学習形態の工夫（ペアやグループによる話し合い活動）



お互いのよいところを見付けよう。

グループの友達と話し合いをすると考えが深まったよ。

◆子どもの問いを生かした「考える授業づくり」

- ・子どもが生み出す問いの活用
- ・子どもの問いを基にした学習課題の設定
- ・問いの解決に向けた「思考を促す発問」の工夫
- ・振り返りの充実



先生が話すぎず、子どもの思考の時間を確保します。

なぜだろう。



どうしたらいいのかな。

小中で進める授業改善

◆呉市「学びの変革」推進研修会



各校の「学びの変革」推進担当教員を対象に、研修を行います。

◆小中一貫教育推進コーディネーター研修会



各校の小中一貫教育推進コーディネーターを対象に、研修を行います。

ICTの効果的な活用

個を大切にしたい支援の充実

～一人一人の実態や思いに寄り添います～

個に応じた支援と居場所づくり

◆SSR(ｽｽﾞ ﾏﾞﾙ ﾏｰﾂﾙｰﾑ)の設置



不登校、不登校傾向の子どもが、学校とのつながりが途切れないようにするために継続的に利用できる場所です。社会的自立に向けて支援します。

◆呉市適応指導教室〔つばき学級〕



3つの教室があります。指導員が2人ずついます。
◆中央教室(すこやかセンター4階)
◆延崎教室(延崎小学校内)
◆安浦教室(安まちづくりセンター三津口分館内)

◆相談窓口の紹介



相談することの大切さを伝え続けます。校内、校外の相談窓口を紹介し、相談には寄り添って対応します。

◆集中できる学習環境づくり～呉市のスタンダード～



すっきりした黒板まわり

整然とした机の配置

ロッカーの整理整頓

◆支援のための会議



スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにも助言を得ながら、情報共有したり、支援の具体を検討したりします。

安全・安心で信頼される学校

～ 児童生徒が安心して学び、成長する場としての居場所 ～

学校における働き方改革の推進

呉市では、教職員のモチベーションの向上や子どもと向き合う時間が確保できるよう、「学校における働き方改革取組方針」を策定し、教職員の働き方改革を推進しています。

「学校における働き方改革取組方針」目標・成果指標

- ① 児童生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教職員（管理職を除く）の割合を、令和4年度末には80%以上とする。 … 令和4年度の肯定的な回答の割合 84.5%
- ② 時間外在校等時間（在校等時間から正規の勤務時間を除いた時間）を、原則年360時間以内及び月45時間以内とする。 … 目標を達成した教職員の割合 71.5%

～ 具体的な取組 ～

学校評価・人事評価への働き方改革に関する項目の位置付け、校務支援システムの導入、部活動休養日の設定、夏季・冬季一斉閉庁の実施、留守番電話の導入、ストレスチェック、児童生徒及び教職員への一人1台のタブレット端末の貸与等

教職員による不祥事の根絶

安全・安心で信頼される学校であるために、教職員による不祥事の根絶に取り組んでいます。

～ 具体的な取組 ～

- 不祥事根絶のための行動計画の作成及び各学校のHPへの掲載
- 校内服務規律研修の計画的な実施
- 不祥事防止委員会の計画的な実施及び校内巡回の実施
- 「体罰、セクシュアル・ハラスメント相談窓口」「パワー・ハラスメント相談窓口」の周知の徹底
- 不祥事防止アンケートの実施
- 「不祥事0(ゼロ)宣言カード」の活用
- 交通関係法規の遵守及び管理職による運転免許証の確認
- 学校諸費会計等の適正な執行及び管理の徹底（「月末決算書類一覧表」の活用）

「小中一貫教育」を進める呉の学校 ～ 一体型、分離型、義務教育学校 ～

これまで積み重ねてきた小中一貫教育の取組を基盤として、それぞれの形態で、特色を生かした取組を進めます。

一体型	分離型	義務教育学校
<p>呉市立〇〇中学校・呉市立〇〇小学校</p> <p>中学校と小学校の施設が一体化している中学校区です。</p> <p>4中学校区が施設一体型（広南、警固屋、呉中央、倉橋）</p>	<p>呉市立〇〇中学校 呉市立△△小学校 呉市立□□小学校</p> <p>中学校と小学校の施設が離れている中学校区です。</p>	<p>呉市立天応学園</p> <p>コミュニティ・スクールを導入します。</p> <p>9年間の学校教育目標を設定し、9年間の系統性を確保した教育課程を編成・実施した学校です。</p> <p>令和5年度、呉市初の義務教育学校「天応学園」開校</p>



(小中一貫教育)